

支える人を支える 京都の 福祉

『京都の福祉』は福祉関係者に福祉の課題や情報を提供する
「京都府社会福祉協議会」(府社協)が発行する広報誌です

2019
07 月号
no.579

▼4ページ
ふくし×○○異ジャンルとのコラボが今、おもしろい!



●今月の「ふくしびと」は相談員・瀬古洋さん ▼7ページ
●平成30年度 京都府社会福祉協議会 事業報告・決算 ▼2ページ

もえくさ



T.Y

♣ 男性が、スクールバスを待つ

ている児童に襲い掛かり、児童
と保護者を殺傷して、自身も自
殺するという痛ましい事件が起
きた。殺傷の動機も分からない

中、男性がひきこもり傾向にあ
ったとの報道を受け、「自分の

子どもも事件を起こすかもしれ
ない」と父親が息子を殺害する

という別の事件も起きた。

♣ 二つの事件報道を受け、ひき
こもりの当事者やその家族から

支援機関への相談が増加してい
るとの報道もある。

♣ どちらも孤立し社会との接点
に乏しく、人との関係で自己肯

定感を持ってない中での事件だっ
たのではないか。「居場所」と「出

番」を作る地域福祉の取組みの
重要さを改めて痛感している。

♣ また、高齢ドライバーによる
事故が相次いでいる。高齢者個

人に運転免許の返納を呼びかけ
るだけでなく、公共交通の整備

や福祉運送の充実、自動運転や
事故防止装置の普及が不可欠で

ある。罰則や講習を強化するだ
けでなく、社会の仕組みとして

再発防止に取り組みなければな
らないのではないか。

京都府社会福祉協議会

事業報告・決算

「第4次中期計画(平成27年度～令和元年度)」の5つの柱にそって平成30年度の主な重点事業の実施状況を報告します。

1 「生活に困窮する人の自立支援」と「社会的孤立を防ぐ取り組み」の一体的な推進

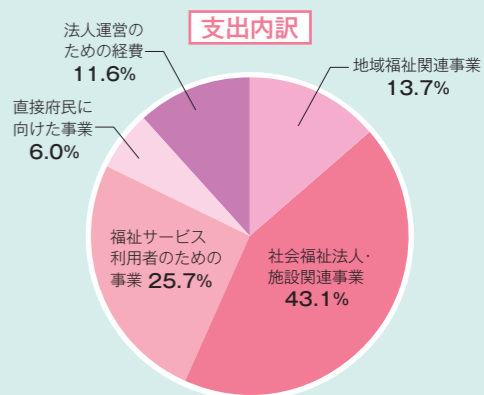
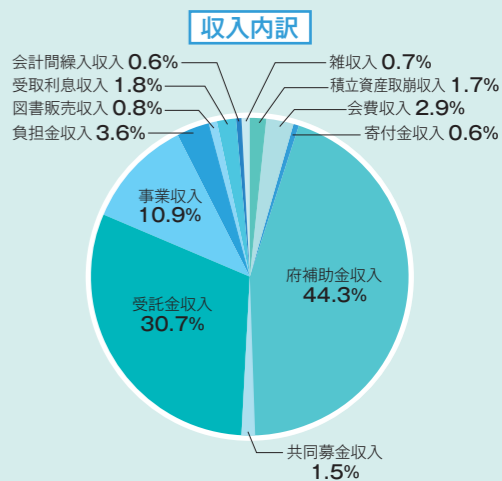
- ①生活に困窮する人の自立支援
 - ▼生活福祉資金貸付の実施
貸付決定 1894件
6億9669万2840円
償還実績 5億9565万4315円
※いずれも不動産担保型生活資金除く
 - ▼ひとり親家庭高等職業訓練促進資金
102件、3570万円
 - ▼施設等入所児童自立支援資金
15件、1454万1030円
 - ②地域福祉権利擁護事業の推進に関する取り組み
実利用者数 854人
新規利用者数 168人
延べ利用者数(京都市内分除く) 2182人
 - ③絆ネット・福祉のまちづくり
▼商店・事業所、地域住民等による重層的な見守りネットワークづくりを
目指す絆ネットを府内19市町村社協
で実施
- ④新たな仕組みづくり
 - ▼地域ひとつなぎ事業(訪問見守り団体への活動助成を実施)として府内366団体・5社協に986万円を助成
 - ▼生活困窮社会における地域づくり研究会を開催。当事者本位の地域づくり、切れ目のない相談支援体制づくり等最終報告を取りまとめた。
 - ▼きょうとフードセンターにおいて企業や個人、NPO等により提供される食材を府内の子ども食堂等延べ408団体・機関に対し4933個を届け、孤食や生活困窮の課題解決に取り組み活動への支援を行った。
 - ▼京都府町村部及び宇治市、城陽市における生活困窮者等家計改善支援事業にかかるプロポーザルに企画提案を行い、本会が委託先として選定された。

2 社会福祉法人の連携・協働の促進と福祉サービスの質の向上

- ①わっかプロジェクト(京都地域福祉創生事業)
 - 28法人の参画により、京都市、宇治市、亀岡市、城陽市、向日市、八幡市、京丹後市で子どもの居場所づくり・食事提供やひとり親家庭の支援として学習支援活動などに取り組んだ。
- ②福祉サービス利用者の権利擁護(京都府福祉サービス運営適正化委員会)
 - 苦情・問い合わせ件数371件、うち新規苦情対応件数91件
 - ③京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構との連携
評価件数 介護サービス分野160件、福祉サービス分野84件

3 福祉・介護人材の確保・定着・育成のための総合的な事業の推進

- ①福祉人材マッチング事業(無料職業紹介事業)の取り組み
 - ▼マッチング支援事業
新規登録者2742人
内定者323人
潜在有資格者
就業支援対象者1086人
内定者122人
 - ▼保育人材マッチング
新規登録者317人
内定者42人
- ②就職フェアの開催
 - ▼福祉職場就職フェア
開催時期の見直しや魅力発信イベント等新たな取り組みを行った。市町村と共同での面接会を試行的に開催
- ③資格取得・就職を支援する貸付事業
 - ▼資格取得・就職を支援する貸付事業
介護福祉士や社会福祉士、保育士の資格を取得する方への貸付、介護職や保育士として再就職される方への貸付など9種類の貸付事業を実施。
 - ④福祉・介護人材の定着・育成
64コースを開催し、5159人の参加を得た。
 - ▼専門性を高める研修
相談面接技術、ケース記録、虐待防止・権利擁護、共感を得る言葉(スピーチロク)など



平成30年度一般会計決算の概要

一般会計	平成30年度決算(A)	平成29年度決算(B)	差異(A-B)
事業収入	504,303,576	539,463,560	▲35,159,984
事業支出	505,844,283	531,057,688	▲25,213,405
事業収支差額	▲1,540,707	8,405,872	▲9,946,579
施設整備収入	0	0	0
施設整備支出	0	0	0
施設整備等差額	0	0	0
その他の収入	8,501,712	1,526,304	6,975,408
その他の支出	6,953,306	5,237,133	1,716,173
その他の収支差額	1,548,406	▲3,710,829	5,259,235
当期収支差額	7,699	4,695,043	▲4,687,344

(注) 実質的収支とは、本会の事業運営に関わる収支を示すものとして、退職金支給にかかる収支、貸付事業の貸付金・償還金、ボランティア基金サービス区分及び会計区分間の収支を除外するなどを行った数値です。

生活福祉資金会計の概要

生活福祉資金には、教育資金をお貸しする教育支援資金、一時的に必要な経費をお貸しする福祉資金、失業等によってお困りの方に資金をお貸しする総合支援資金などがあります。平成30年度の貸付金、償還金の状況は下記のとおりです。

	平成30年度決算(A)	平成29年度決算(B)	増減(A-B)
貸付	572,231,047	606,341,000	▲34,109,953
償還	640,652,453	603,619,902	37,032,551

4 「防災・減災のまちづくり」と「被災者・被災地の思いに寄り添った災害支援活動」の推進

- ①大阪北部地震、7月豪雨災害、台風21号災害への対応
 - ▼被災地の社協・災害ボランティアセンターに職員、初動支援チームを派遣
 - ▼緊急小口資金の特例対応を行ったボランティアによる支援活動延べ4184人(7月豪雨災害)
- ②平時の取り組み
 - ▼京都府災害ボランティアセンター(事務局)として、初動支援チーム研修などを実施
 - ▼京都府災害時要配慮者避難支援センター(事務局)として、災害派遣福祉チーム研修などを実施
- ▼人・組織の力を高める研修
キャリアパス対応型生涯研修、マナー研修、スーパーバイザー研修、若手職員のエンパワメントなど
- ▼資格取得に関する研修
介護支援専門員実務研修、相談支援従事者研修、介護支援専門員実務研修受講試験や社会福祉士の受験対策講座など

5 幅広い協働による事業の展開

- ▼京都府民生児童委員協議会、京都府共同募金会をはじめ、社会福祉関係団体との連携強化に取り組むとともに、市町村社協連合会、社会福祉法人経営者協議会、京都府社会福祉施設協議会等の団体事務局を担い活動の強化に取り組んだ。
- ▼地域における権利擁護体制の推進、
- ▼成年後見制度の利用の促進に向けて、市町村行政や職能団体と協議を行う場を設定するとともに京都府及び京都家庭裁判所と定期的・継続的に情報交換を設けた。

ソフトテニス



介護職員の新しい働き方

(福) 秀孝会 女子ソフトテニス部 team Sunny Breezeの河村さん、西本さん、横山さん

横山さん(写真右)

大変だけど、利用者様と向き合うことで学ぶこともたくさんあって、楽しいです。

西本さん(写真中央)

人の役に立てる仕事。同期も多く、みんな初めてなので頑張りたいです。

河村さん(写真左)

社会に貢献できる仕事とテニスを両立できるのは幸せなこと。頑張ります。

八

幡市で、特別養護老人ホーム京都ひまわり園などを運営する(福)秀孝会が、ソフトテニス部を創設。6人の職員が介護の仕事に従事しながら、トップリーグである日本リーグ参入を目指して練習に励む。ソフトテニス界の関係者から、実業団チームが減少する中、選手の活躍の場を確保したいとの思いを聞き、秀孝会で選手を介護職員として採用し、仕事とテニスを両立させるアイデアが生まれた。

部員たちは、日中は仕事、夕方から練習、週末は試合というハードスケジュールの毎日過ごす。

藤田統括施設長は「職員が活躍することで多くの人に介護の仕事に目を向けてほしい」と期待する。

ものづくり



支援が必要になってもできることはある

西院入デイサービスセンター 所長 河本歩美さん

介護が必要になっても社会の一員として社会とつながれる機会をつくりたかった。ブランド名は「sitte(シッテ)」。

福

京都福祉サービス協会在が運営する西院老人デイサービスセンターでは、70〜90歳の利用者11人が毎週月曜日、デイサービスに「出勤」し、まな板づくりに取り組む。紙やすりで、ヒノキの板を丁寧に磨いていく利用者。まな板は、京都市内の雑貨店で販売され、1枚売れると、利用者には、お礼として地元商店街の500円の金券が渡される。金券をもって商店街に買い物に行くのも楽しみの一つだ。

靴みがき



靴磨きは「心磨き」

靴磨きは心磨き! 「誇りと責任を持って挑戦し、人々に勇気と情熱を分け与えていけるように」との想いを込めています。



革靴をはいた猫 社長 魚見航大さん

革

靴をはいた猫は、京都市役所の側に店舗をもつ靴磨きサービス会社。社長の魚見航大さんが大学生の時に障害者雇用に関わる活動をしてきたことが起業のきっかけ。童話「長靴をはいた猫」は1匹のネコが長靴を与えられ、挑戦していく物語。私たちの社会にも障害を持ちながらも活躍できる可能性をもつ人が挑戦できる機会をつくりたいと2017年に起業した。

実は、いろんな業種・業界と接点を持ち得るのが、福祉。府内の意欲的なコラボ、このチャレンジは福祉の未来をきっと変える!!

おもしろい!

ふくし×〇〇

異ジャンルとのコラボが今、



自分たちの常識と世間の認識の違いを明らかに

スイーツ

京都市左京区にあるワイクセンターHallの1階にある小さな洋菓子店「茶山(sweets Halle)」は、京都府産の素材を活用したスイーツを販売している。運営母体は(福)修光学園。法人理念である、共生社会の実現を目指し、障害のあるなしにかかわらず、住みながら地域で自立した暮らしを実現できることを目指して活動している。



もっと働きたいという思い……。それぞれの利用者さんの自己実現につながるようにできるだけ多くの工賃を目指して活動を行っています。



利用者さんの自己実現につながるように



誰もが集える 地域に開かれた居場所

「駄菓子屋さん」は自分にとって地域や社会との初めての接点だった。福祉という敷居が高いが、普段の身近な場でつながることで、福祉の入り口を広げたい。



乙訓障害者事業協会 副理事長 生田一朗さん

J

R 長岡京駅から西国通り沿いに5月4日、駄菓子屋がオープンした。店内は、100円玉を握った地域の子どもたちでにぎわう。駄菓子屋を運営するのは、長岡京市を拠点にひきこもりや生きづらさを抱える人たちの就労支援をしている「乙訓もも」(乙訓障害者事業協会)。駄菓子屋の開店にあたっては、お店番や店舗の改装のための片づけ作業や掃除など、一人一人の状況にあつたさまざまな参加の機会をつくった。

駄菓子屋

ラジオ

寺町三条にある市民が主役のラジオ局「京都三条ラジオカフェ」(FM 79.7MHz)にて毎月第2月曜日の12時半〜13時「行列の訪問看護ステーション」が生放送されている。(株)アドナリスの代表で、訪問看護師の鎌田智広さんがパーソナリティーを務め、様々な人をゲストに迎え、訪問看護の魅力を伝える。2019年6月で10年目に突入した。



アドナリス代表 鎌田智広さん

「訪問看護?それってヘルパーさんと何が違うのですか?」と言われ、驚いたのは10年前。自分の常識と、世間の認識の違いをきっかけに訪問看護をもっと身近にしたいです。

利用者の困りごとに
真摯に寄り添って
支えていきたい



花ノ木医療福祉センター 主任 相談員 ● 瀬古 洋さん

◆この職場を選んだ決め手は？

障害児の生活に携われる仕事がしたいと考えた時、重症心身障害児に専門的な福祉サービスを提供しているのが魅力だった。

◆職場のいいところ

ドクター、看護師、リハビリスタッフなど、いろいろな職種の人と連携しながら仕事ができる。

◆好きな言葉

「できっこないをやらなくちゃ」(サンボマスターの曲名で、元気がない時に聞いています)

「幼なじみの兄弟に障害があつて、幼い頃は自分がうまく関われなかつたんです。それがずっと心の中にあつて、何か役に立てることはないのかな、と思ったのがこの仕事を始めた大きなきっかけです」と話す瀬古さん。花ノ木医療福祉センターの相談員として、日々利用者さんの困りごとに耳を傾け、心を開いて向き合っています。

生活支援員として10年勤務した後、現在の職に就いて6年。さまざまな利用者さんとの出会いに、瀬古さんは大きく育てられたと話します。「20代の頃、重い知的障害のある方を担当しました。その方は自分の思いを言葉にし難いため、自傷したり人を傷つけることで思いを伝えようとしていました。この方が困っていることを少しでも軽くしてあげたい、と看護師やリハビリスタッフなどと連携しながら支援したんです。微力だったかもしれないが、その方のことで頭がいっぱいになり、仕事にのめり込むようになった出会いだったと振り返る瀬古さん。

穏やかな口調の中に熱い思いがほとばしります。これからも利用者さんに真摯に寄り添っていきます。

【施設名】花ノ木医療福祉センター
【場所】〒621-0018 京都府亀岡市大井町小金岐北浦 37-1
【URL】http://www.hananoki-kameoka.or.jp
【TEL】0771-23-0701 【FAX】0771-22-8348

「きょうとフードセンター」へのご寄付、ありがとうございます！

運営スタートから1年あまり……

きょうとフードセンターは、子どもたちに食事の提供を行なう「子ども食堂」や「子どもの居場所」などの実施団体に安定的に食材を提供しようと2018年3月に設立されました。京都府社会福祉協議会が食材提供に関する相談や受付、提供者と運営団体とのマッチング等の業務を京都府から受託しています。運営を始めて1年が過ぎ、多くの皆様から食材を提供いただいています。これからもご協力をお願いいたします！

延べ48回、食材をご提供頂きました！

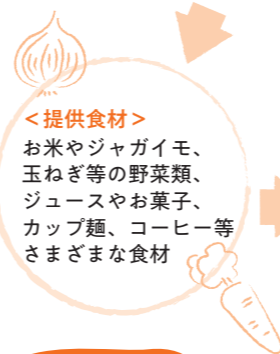
～法人～

- (株) ローソン 4回
- 大塚食品(株) 1回
- 大塚製菓(株) 1回
- (株) 京都はんなり本舗(フレーバース) 3回
- NPO ライフプランニング 2回
- 小川珈琲(株) 5回
- (株) ジーシーエム 1回
- 一般社団法人日本非常食推進機構 3回
- 五丁目パン工房はたはる 2回

～個人～

- 祖田様(城陽市) 3回
- 渋谷様(南山城村) 2回
- 奥村様(京都市中京区) 1回
- 他、匿名ご希望の方々延べ20名

平成30年度にご寄付をいただいた方々(順不同)



<提供食材>

お米やジャガイモ、玉ねぎ等の野菜類、ジュースやお菓子、カップ麺、コーヒー等さまざまな食材

合計428回の食材提供ができました！

<提供先>

子ども食堂 225回
母子父子寡婦福祉関係団体 108回
児童養護施設 64回
障害者福祉施設など 31回

担当者に聞きました



社会福祉法人 京都府社会福祉協議会 坂田 徹

子どもを見守る“食卓”をつくる 架け橋になります！

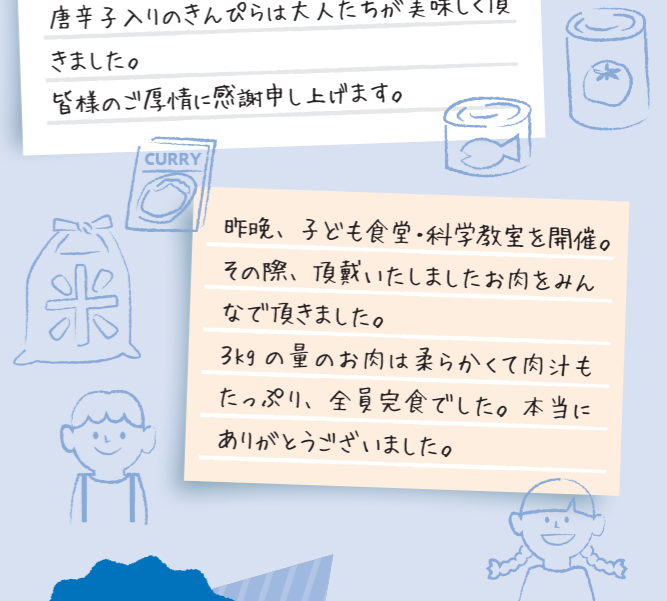
福祉に携わって27年、私は以前から、特に生活困窮者問題への意識があり、地域みんなが暮らしやすい社会にしたい！と願ってきました。誰もが私たち自身に関わる問題として、生活困窮社会を考える研究会を立ち上げました。フードセンターの話京都府からいただいた時は、最前線の地域づくりの方法の一つに携われることに、強くやりがいを感じました。運営開始からずっと、大切にしていることは「単なる食品提供にならないように」。施設に食品が集まればそこに食卓ができ、子どもを見守る場所、人

と人が繋がる空間ができます。そんな繋がりをどんどん広げれば、子を持つ家庭も助かり、地域も活性化して、少しでも多くの方が暮らしやすくなって……と良い循環ができるんです。フードセンターは、その架け橋でありたい。時には、遠方まで食品を届けるために自車を走らせることもあります。一時的に食材を預かっていただく社会福祉施設や市町村社協の協力を感謝しています。また提供相談のお電話を受ける時も、本当に幸せな瞬間ですね。でも提供食品の量は、実はまだまだ充分ではありません。少しでも提供したいと思ってくださる方は、私たちスタッフ一同、あなたの想いと一緒に届けられるよう臨機応変に対応しますので、ぜひ気軽に相談をしてきてください！

喜びの声が続々と届いています！

本日のわしとぎんぴらの出話が届きました。早速、親子料理教室に提供させて頂くことができ、参加者のみなさんから大変喜ばれました。いわしは炊きたてのごはんや、蒸し野菜、煮汁とともに赤ちゃんも一緒に食べて頂きました。唐辛子入りのぎんぴらは大人たちが美味しく頂きました。皆様のご厚情に感謝申し上げます。

昨夜、子ども食堂・科学教室を開催。その際、頂戴いたしましたお肉をみんなで頂きました。3kgの量のお肉は柔らかくて肉汁もたっぷり、全員完食でした。本当にありがとうございました。



個人や法人の皆様へ
食品のご寄付のお願い

今後ともご寄付を
よろしく願いいたします。
お問い合わせ等ありましたら、
きょうとフードセンター
(075-252-6299) まで
お気軽にご連絡ください。

京都府社会福祉協議会からのお知らせ

第22回(令和元年度) 京都府介護支援専門員 実務研修 受講試験についてのお知らせ

試験日・会場

日時 10月13日(日) 10:00~12:00

会場 同志社大学 今出川キャンパス 又は
立命館大学 衣笠キャンパス

試験案内(申込書)の配布

6月7日(金)から7月22日(月)まで
市区町村役場(介護保険担当課)、府広域振興局、
保健所等で配布

受験申込受付期間

7月8日(月)から7月22日(月)まで
所定の封筒を使用した「簡易書留」での郵送による
申込みのみ

7月22日(月)の消印まで有効

受験手数料 8,800円

問い合わせ先

京都府社会福祉協議会
介護支援専門員実務研修受講試験室

TEL.075-254-3844

(土曜・日曜・祝日を除く9:00から17:00まで)

令和元年度 介護支援専門員(ケアマネジャー) 実務研修受講試験のための 受験対策講座

日程

7月27日(土)、8月4日(日)、8月17日(土)、
9月7日(土) 9月28日(土)

時間 10:00~16:30

会場 同志社大学今出川キャンパス、
ハートピア京都

受講料 40,000円(5日間分)

講師 伊東利洋氏 (有)いとう総研 取締役

テキスト ケアマネジャー試験確実合格指南書
改定19年版

※開催要綱は、京都府社会福祉協議会の
ホームページからダウンロードできます。

問い合わせ先 研修課 TEL.075-252-6296

介護に関する入門的研修(京都市) を開催します

日時 ※1日のみ受講も可能です

① 7月30日(火)・② 31日(水)・

③ 8月3日(土)・④ 7日(月)

①② 9:30~17:00 ③ 9:30~16:30

④ 9:30~12:00

会場 ハートピア京都 第4・5会議室

対象者 介護業務未経験者の方で介護に関心が
ある方など、どなたでも受講いただけます。

参加費 無料

定員 20名(要申込)

内容

・介護を支える制度 ・基本的な介護の方法
・障がいの理解 ・認知症の理解
・介護における安全確保 など

申込締切 7月23日(火)

研修最終日に開催!!

見て・聞いて・体感する 福祉職場見学ツアー

日時

8月7日(水) 13:00~17:00

京都市内の障害者支援施設と高齢者福祉施設
を見学するツアーを開催します。参加をご希望
の方は、京都府福祉人材・研修センターのホー
ムページから参加申込書にてお申込みください。
(研修のみ・見学ツアーのみの参加も可能です)

問い合わせ先 福祉人材課 TEL.075-252-6297

● 本会へのご意見等は、下記URLの「お問合せフォーム」を通じてお寄せください。

<http://www.kyoshakyo.or.jp>

京都府社協

検索



本紙は、共同募金の
配分金によって
つくられています。

©中央共同募金会

平成31年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

事故・紛争円満解決のために!

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

保険期間1年

▶ 年額保険料(掛金)

定員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
100名以降1名~10名増ごと	1,500円

付見舞費用(B型)	基本補償(A型) 保険料	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 施設職員の補償 改定

プラン4 社会福祉法人役員等の補償



スケールメリットを活かした
充実した補償と
割安な保険料
です。

◆ クレーム対応サポート補償(プラン1-①オプション4) 改定

● この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉 TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)